

中緑が丘

自主
健康
友愛



←学校HPは
こちら

文化として誇れる 合唱・岩中太鼓・全校演劇へ

10月16日(木)、特設合唱委員会による「合唱コンクール 中間発表」が行われました。委員長の大川陽向さんは「今日は、待ちに待った合唱コンクール中間発表会です。他の学年の合唱から学び、今後の合唱をよりよいものにできるように頑張りましょう。」と話しました。また、中学校最後の合唱コンクールとなる3A生徒たちは、「みんなで意欲をもって合唱練習に取り組み、金賞を取りたい。」と後輩の力強い合唱を聞いて、決意を新たに誓いました。

表現された歌そのものも大切ですが「文化として誇れる合唱」を創造しようとする心が、とても大切な岩中の文化であると思います。本番が、とても楽しみです。

3年A組「心の瞳」



2年A組「越えてゆけ」



1年A組「大切なもの」



地域イベント
× TIVo GROUP



10月10日(金)、岩中太鼓のメンバーが金婚お祝い会に出演しました。TIVo Actionとしてこれまで多くの地域イベントに出演するなど、学校内外で積極的に活動してきました。現在、文化祭に向けて新曲「嵐を越えて」の練習に励んでいます。この取組を通して、地域や岩中太鼓への想いが受け継がれていくのを感じます。本番では、生徒たちが奏でる一体感と迫力のある太鼓の音色をお楽しみください。

【全校演劇】『架け橋』～未来につなぐ想い～

第79代生徒会では、新たに「全校演劇」を三大文化として掲げました。全校演劇に関わる想いが、生徒総会議案書に以下のように述べられています。

(2) 【三大文化の変更について】より

生徒会では改めて劇の取組を全校で行うことの**価値や大切さ**を考えました。アンケートの結果から本校の課題となっている「**自己肯定感**」や生徒会の目標の一つである「**コミュニケーション能力**」を高める上で、全校演劇の取組は効果的であるとともに、**地元岩泉をはじめとした題材を劇にして多くの人に見てもらおう**ということは、今後も**引き継いでいきたい大切な文化**だと考えます。

④生徒同士のコミュニケーション～仲を深め一体感のある学校へ～ より

全校演劇では、表現力の向上はもちろん、**様々な係を全校生徒で分担**することで、他の生徒とのかかわりが増えると考えます。



【チラシ作成：宣伝美術係】



9月22日(月)、生徒会執行部による「文化祭説明会」が行われ、全校演劇に関わる内容等が発表されました。係として、①演出、②キャスト、③大道具、④小道具、⑤衣装、⑥宣伝美術、⑦転換スタッフ、⑧音響、⑨照明、⑩太鼓があり、全校生徒が自ら選んだ係で分担されました。

10月から本格的に稽古等がスタートしましたが、「題名」が決まっていませんでした。生徒会執行部では、全校生徒に「題名」を募集。10月20日(月)、演出系の生徒たちが協議して、「架け橋～未来につなぐ想い～」と命名されました。演劇を創作した工藤泉さんは「つくった経緯もしっかりしていてテンションが上がった」と大変喜んでいました。同日には、町民劇監督の加藤勝彦さんと劇団員の鈴木悠太さんから台風豪雨被害の体験談のお話をいただき、演劇につながる貴重な時間となりました。

当日は、演劇・太鼓講師(工藤泉さん、加藤勝彦さん、鈴木悠太さん、林崎功さん)、教職員、全校生徒が一丸となって創り上げてきた「全校演劇」をお楽しみください。

てどの蔵マルシェ&音楽イベント

10月12日(日)、てどの蔵にてマルシェ&音楽イベントが開催され、TIVoメンバー8名が受付や販売のサポートなどをおこないました。世界的に活躍する2人の音楽家「Era」、中学生シンガー&ギタリスト「KieeRa」などが出演。パワフルな歌声や演奏に、会場が大変盛り上がりました。主催者の長澤純一さんは、「岩泉の子どもたちにも音楽ライブの感動を届けたい」とこのイベントを企画した想いを述べた。

地域イベント
× TIVo GROUP



Music gives a soul to the universe, wings to the mind, flight to the imagination and life to everything.
音楽は、世界に魂をあたえ、精神に翼をあたえる。そして想像力に高揚をさすけ、あらゆるものに生命をさすける。